

第84号
2015年8月

風

発行

群馬県生協連女性協議会
群馬県前橋市大手町3-19-3

『風』はホームページでもご覧いただけます
<http://gunma.kenren-coop.jp/>
Eメール: mail@gunma.kenren-coop.jp

女性協第22回定期総会を開催しました

6月18日(木)

会員生協どおしの男女共同参画の取り組みの交流を広げたい

6月18日(木)、前橋問屋センター会館で女性協第22回定期総会が開かれました。議長に生活クラブ生協の篠田真由美さんが選ばれました。

主催者代表で県連の中嶋源治会長理事、女性協の松本勉枝会長が挨拶を行い、

続いて議長は4名の来賓を紹介し、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課長補佐赤羽昌巳様、



議長に選ばれた篠田さん(生活クラブ生協)



群馬県ぐんま男女共同参画センター所長星野真弓様よりご挨拶をいただきました。



県消費生活課赤羽補佐とぐんま男女共同参画センター星野所長から挨拶を受けました。

議事に入り第1号議案「2014年度活動報告と収支報告承認の件」を秋山ユミ子副会長がパワーポイントを使って行い、監査報告を狩野清美委員が行いました。

第2号議案「2015年度活動方針と予算決定の件」を松本勉枝会長が提案を行い、「誰もが安心して気持ちよく暮らせる社会」を次世代に繋げられるよう、会員生協の事業や活動がより共同参画の視点を持ち取り組まれるよう応援していきたい、など述べました。



今年度の活動方針を提案する松本会長

その後、質疑に入り収支残高について質問があり、事務局が説明を行いました。「昨年と同じ質問したのに改善されていない」との厳しい指摘もありました。指摘を受け県連として改善することを約束しました。

第2部のアトラクションは音楽家しろたくみこさんの歌とお話。素晴らしかったですね。楽しい時間を過ごすことができました。



第2部のアトラクションは音楽家しろたくみこさんの歌とお話。楽しい時間を過ごすことができました。

参加の代議員・オブザーバーの皆さんお疲れ様でした。これからもご協力よろしくお願いします。

編集委員 猪俣友子(北毛保健生協)

第2 2 回定期総会に参加して

尾内かつ代さん（はるな生協）

今まで何回か女性協の総会に参加してきましたが、参加する度に関心の薄かった「女性協」が身近に思えるようになっていました。

他団体で活躍されている仲間の姿に触れる中で女性、母、妻としていつも元気をいただけます。今後も他団体との交流・研修会等への参加を通し、健康、暮らし、平和のこと等共に考えて歩いていきたいと思った総会でした。



アトラクションのしろたくみこさんによる演奏・トークと歌のプレゼントは胸がいっぱいになったひと時でした。

第2 2 回定期総会に出席して

角田さゆりさん（コープぐんま）

男女共同参画を目指し、女性の立場からいろんな活動の取り組みなど、素晴らしい報告でした。

会長さんをはじめ委員の方々の努力に拍手！！
これからも地域の活性化につなげていってほしいです。

第1号、第2号議案が出されて承認はされたのですが収支報告のところで昨年と同じ質問が出されていました。女性協議会は生協連の中の協議会だと思っています。そのところをわかりやすく来年に質問が出ないようにしていただきたいと思います。

総会後のアトラクションは聞いている人みんなが元気になるような歌声とピアノでした。私自身今調子が悪く毎日が憂鬱でしたが、今日参加して良かったです。

強いて言えば同じ生協から会長さんがなるのではなく他の生協の方々もしていただきたいと思いました。



組合員学習交流会を開催しました

5月16日(土)

「子どものココロがわかる ハッピー子育て講座」

5月16日(土)群馬県生涯学習センターにおいて、前橋協立病院小児科医の深澤尚伊先生を講師にお招きし、組合員学習交流会を開催しました。参加された方は52名でした。

子育ては、どの段階でも子どもへの「関心・観察」が大事で、「何か普段と違う…」という親の直観と、「今、この子は何を考えているのだろう。」と常にアンテナを張って見つめる目が大切だそうです。少しの変化に気づくようになると、感動が増えます。先生は、子どもからたくさん感動をもらってほしいと話されていました。先生ご自身も、



深澤先生ご自身の子育て体験を交えてお話しをしていただきました

日々のささやかな出来事や感動は、毎月発行した家族新聞『深沢村通信』に残してこられたそうです。



グループワーク形式で運営しました

思春期については、芽生え始めたプライドを親の言動によって傷つけてはいけないこと、親の価値観ではなく、自分で自分のことを決められる力をつけることが将来の自立につながるなど、お子様二人を育てられた経験を踏まえてお話しいただきました。

後半はグループごとに分かれ、子育て・孫育ての悩みや心配事などについて話し合いました。短い時間でしたが悩みを共有したり、アドバイスをもらったりしあえる貴重な時間となりました。

現代は、狭い母子関係のため、緊張した状態で子育てをしています。小児科に訪れた母親の心に寄り添い、笑顔を取り戻してあげるのが自分の仕事だ、と話された愛ある言葉は非常に印象に残りました。

子育てで大切な事や親の子どもへの想いは、いつの時代でも一緒です。尊い人格・人権を持った子どもとの、今、この時間を大切にしていきたいと、参加者皆さんが改めて感じた講演会となったのではないのでしょうか。

編集委員 西原友美（パルシステム群馬）

“ハッピー子育て講座” 参加者のこえ

子育てをしているといろいろな悩み事を抱えてしまいます。先生ご自身の二人のお子様の子育てをうかがい、自分自身も楽しみながら子育てをするヒントをいただけたと思いました。

家族新聞は、子育てで見失いがちな親子のコミュニケーションをとる方法を、教えていただきました。親の思い、子の考え。子どもの成長と社会の実情と共に変化していく中、会話では伝えきれない事を「文字」という形で残す事が出来て、こういう方法もあったのか！写真やビデオも良いけど、その時々の子育て中の自分や子どもの思いを残すことも素晴らしいな、と感動をしました。

今回のセミナーを通じて、同じ悩みを持つ親御さんと交流がもてたことで、「そうそう」とか、「なるほど・・・」とか、多様な対応や考えがあり、とても参考になりました。さらに、世代を超えた幅広い子育ての情報交流ができ、将来の自分の姿を考える良い機会になりました。

今回は、このような子育て支援に参加する機会をいただきありがとうございました。運営に当たられた皆様に、感謝申し上げます。

☆♥☆♥☆ 仁位・西澤・関口・狩野さん（学校生協）

今回は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。その中でも、特に印象に残っていることは、家族新聞を発行することによって家族との時間をつくっていたということです。

お医者様という職業柄、とてもお忙しいなかで時間を作って子どもたちと向き合う。面と向かってでは言えないことであっても、新聞を発行することによって意見を伝えることができる。

私は今子どもたちの反抗期に直面しております。なにかとぶつかることも多く、悩むことも多くあります。

ついつい忙しいからと話しを聞くことを後回しにしてしまうことも多かったのでは... と反省するとともに、これからは出来る限り子どもたちとの対話を大切にしたいと思いました。

☆♥☆♥☆ 斉藤亜紀子さん（パルシステム群馬）

共同参画の取組み紹介

各生協から寄せていただいた原稿をそのまま掲載しています。

コープぐんま

コープぐんまの男女共同参画・次世代育成支援の取組み

コープぐんまでは現在「第5期次世代育成支援行動計画」を取り組んでいます。これは次世代育成支援対策推進法に基づき企業が従業員の仕事と育児の両立を図るための雇用環境整備の目標を定め、一定期間内に実施するものです。



第4期次世代計画認定の「くみん」マーク

コープぐんまでは2007年度から取組みを始めました。厚生労働省群馬労働局から「子育てサポート企業」として過去4回の認定を受けており、県内で4回の認定を受けたのはコープぐんまが初めてです。

第5期では育児休業支援金を休業1日目から支給し、より休暇を取得しやすく改善しました。またこの間、幹部職員教育の学習会や「ノー残業デー」の取組みすすめています。学校の夏休み期間中に親の職場を経験してもらう「子ども参観日」は毎年40名近い職員の子どもが親の仕事を経験しています。

2014年10月に今までの両立支援の取組みが評価され厚生労働省の「均等・両立推進企業表彰群馬労働局長賞」を受賞しました。



2014年度「子ども参観日」
(お母さんの配達と一緒に体験)

女性協の視察研修会

お知らせ

富岡製糸場一等工女・「富岡日記」著者 和田英(わだ・えい)の生家を訪ね 松代大本営を視察します

10月5日(月) 8:00~17:30
敷島公園(前橋)発・着
(ほかに 新前橋駅を経由)



以前は「おエイちゃん」と呼ばれていました(H24年「お富ちゃん」に改名)

- ◆対象 女性・男性 (生協組合員および家族)
- ◆集合 出発時間の15分前
- ◆乗降車場所 前橋敷島公園(正田醤油スタジアム南の駐車場) 8:00 出発・17:30 帰着
新前橋駅東口(ロータリー北東のバス停付近) 8:10 出発・17:20 帰着
- ◆募集 40名: 〆切9月24日(木) (40名を越えた場合抽選となります)
- ◆昼食 郊外のレストランに立ち寄り各自とっていただく予定です(お弁当持参も可)
- ◆参加費 3000円(子どもさんの参加費は申込み時におたずねください) 当日集金
- ◆お申込み 各生協または女性協運営委員にお申し込みください。
お名前・年齢・住所・電話番号・乗車場所・携帯番号(*)をお伝え下さい。
※携帯番号は当日の緊急連絡のためです。参加される方の番号をお聞かせください。
(個人情報はこの企画のためにのみ使用いたします)
- ◆お問合せ等 各生協または群馬県生協連事務局(027-234-2376)におたずねください。
※当日の連絡は080-3715-6988(松本)または080-5441-1336(秋山)まで。